

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公開番号】特開2005-275844(P2005-275844A)  
【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)  
【年通号数】公開・登録公報2005-039  
【出願番号】特願2004-88517(P2004-88517)  
【国際特許分類】

**G 0 8 B 17/06 (2006.01)**

【F I】

G 0 8 B 17/06 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月5日(2007.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

火災を検知する入力部と、  
入力部の火災検出動作により警報を出力する出力部と、  
前記出力部に電力を供給する電源部と、  
前記入力部、出力部及び電源部の少なくとも2つを縦方向に並べて収納した筐体と、  
を備えたことを特徴とする火災警報機。

【請求項2】

請求項1記載の火災警報機に於いて、前記筐体は筒状ケースに先端から順番に入力部、出力部及び電源部を収納したことを特徴とする火災警報機。

【請求項3】

請求項1又は2記載の火災警報機に於いて、前記入力部は所定の火災温度で予め記憶した記憶形状に変位する形状記憶合金パネを備え、前記出力部は前記形状記憶合金パネの変位を受けてオンするスイッチと前記スイッチのオンにより鳴動するブザーを備えたことを特徴とする火災警報機。

【請求項4】

請求項3記載の火災警報機に於いて、前記入力部は先端から背後に位置する出力部のスイッチ操作部位に至る細い棒部材を挿通して前記スイッチを試験作動させる通し穴を備えたことを特徴とする火災警報機。

【請求項5】

請求項3記載の火災警報機に於いて、前記入力部の先端穴から一端を突出し、他端を背後に位置する出力部のスイッチ操作部位に当接して前記スイッチを試験作動させる試験ロッド部材を備えたことを特徴とする火災警報機。

【請求項6】

請求項3記載の火災警報機に於いて、前記入力部の先端穴に前記出力部のスイッチオンにより点灯する発報表示灯を設けたことを特徴とする火災警報機。

【請求項7】

請求項1記載の火災警報機に於いて、前記筐体は筒状ケースに先端から順番に電源部、出力部及び入力部を収納したことを特徴とする火災警報機。

【請求項8】

請求項 7 記載の火災警報機に於いて、前記入力部は所定の火災温度で予め記憶した記憶形状に変位する形状記憶合金バネを備え、前記出力部は前記形状記憶合金バネの変位を受けてオンするスイッチと前記スイッチのオンにより鳴動するブザーを備えたことを特徴とする火災警報機。

【請求項 9】

請求項 1 記載の火災警報機に於いて、前記筐体は筒状ケースに先端から順番に出力部、入力部及び電源部を収納したことを特徴とする火災警報機。

【請求項 10】

請求項 2、7 又は 9 記載の火災警報機に於いて、前記入力部は火災による煙を検知することを特徴とする火災警報機。

【請求項 11】

請求項 2、7 又は 9 記載の火災警報機に於いて、前記円筒ケースは前記電源部に収納する電池により決まる太さの円筒体寸法を備えることを特徴とする火災警報機。

【請求項 12】

請求項 2、7 又は 9 記載の火災警報機に於いて、前記円筒ケースは、取付け側に内部に熱気流または煙を導入する開口部を備えたことを特徴とする火災警報機。